

2020 年度事業報告

自 2020 年 10 月 1 日 至 2021 年 9 月 30 日

一般社団法人 日本野球機構

日本野球機構は、野球が我が国の社会的な公共財であるとの認識の下、これを普及して国民生活の明朗化と文化的教養の向上をはかるとともに、野球事業の推進を通してスポーツの発展に寄与し、我が国の繁栄と国際親善に貢献することを目的としています。下記は、いずれもこの共通の目的を達成する手段であり、2020年度における実績を記したものです。

2020年度に実施した主な事業のトピックス

新型コロナウイルスの影響により、2020年シーズンに引き続き感染予防対策を講じながらのプロ野球開催となりました。デルタ株等による感染拡大の影響下において、検査体制の強化、より厳格な接触状況の確認などできる限りの感染拡大防止策を講じることで事業を継続し、2021年シーズンを遂行しました。

また、本年度最大のイベントであった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においては、日本野球界の悲願であった正式競技による金メダルを獲得しました。侍ジャパン・日本代表チームの快挙は国内に大きな反響を与え、野球の魅力・醍醐味を広くアピールすることができた意義のある大会となりました。

《公益目的事業》

- オンライン方式の導入
「学生野球資格回復研修」、「ベースボール型授業研究会」、「侍スキルアップ講習会」など、これまで実地で行ってきた各種振興事業に、コロナ禍対応としてeラーニング等のリモート方式を追加採用しました。
- 野球競技者登録システムの運用開始
日本野球協会の取り組みとして2016年に開発着手した野球競技者登録システムの活用を2021年5月から開始。学童野球から成人に至るまで、すべての競技者が1つのシステムに登録できる仕組みが整いました。スタート時の参加は日本高等学校野球連盟、全日本大学野球連盟、全日本女子野球連盟の3団体から。今後、日本野球協会に参加する各野球団体のチーム、選手の登録を推進して参ります。
- NPB12球団ジュニアトーナメント
16回大会を迎え、初めて神宮及び横浜で開催。コロナ禍で保護者、関係者に観戦者を絞っての実施となりました。選手から新型コロナウイルス感染者が出ることもなく大会(期間中、大会後2週間)を無事実施しました。なお、2020年ドラフト会議では、これまでで最多の13名のジュニアチーム出身選手が指名を受けました(ドラフト指名選手は計56名)。
- NPBガールズトーナメント
新型コロナウイルスの影響で昨年の開催は中止となりましたが、本年は感染ガイドラインを策定し、感染予防を徹底することで2年ぶりに開催することができました。

《収益事業等》

- 2020年シーズンの開幕日は例年から約3カ月遅れの6月19日となりましたが、11月中に、公式戦、SMBC日本シリーズまで終えることができました。コロナ禍で迎える2年目のシーズンとなる2021年シーズンは3月26日に予定通り開幕しました。4月から6月にかけて、一部チーム内の感染により数試合の延期を余儀なくされましたが、日本生命セ・パ交流戦、マイナビオールスターゲームを無事実施し、最終的には1球団当たり公式戦試合数143試合、クライマックスシリーズを完遂しました。
- なお、1年延期となった東京五輪の大会開催期間中には、各球団はコンディション調整のためにエキシビジョンマッチ(練習試合)を行いました。
- プロ野球ファンへのサービス向上、訴求力向上そして新たな収益源を作るため、3シーズン目となる「eBASEBALL プロリーグ2020(NPB・コナミ共催)」(2020年11月～2021年1月)を開催しました。また、2021シーズン(2021年12月～2022年2月)では、従来のパワプロで行う「eBASEBALL プロリーグ」から新

たに「プロスピ A」での「eBASEBALL プロスピ Aリーグ」を立ち上げました。(※オンライン予選では26万人超の試合プレイヤー数を記録)

《その他目的を達成するために必要な業務》

- 東京オリンピック「野球・ソフトボール競技」の運營業務を受諾、東京オリンピック組織委員会と共に、福島あづま球場、横浜スタジアムでの競技運營業務を実施しました。
- 暴排活動等においては中央協議会(オンライン)の開催、春季キャンプでの講習のほか、反社チェックシステムの活用徹底、ドラフト会議および日本選手権シリーズでのチケット転売調査を実施しました。
- 職員向けの研修、新型コロナウイルス感染防止拡大のためにWEB研修やeラーニングでの受講環境を整えました。また、コンプライアンス研修(各部署単位)を実施しました。
- 危機管理対応の強化策として、安否確認システムの安定運用を実施しました。

実施事業の詳細

《公益目的事業(野球振興事業)》

【野球振興事業の実施】

- ◇ NPB12球団ジュニアトーナメント KONAMI CUP 2020 の開催
 - ・ 2020年12月29日～31日 明治神宮野球場、横浜スタジアム
- ◇ NPBガールズトーナメント2021 全日本女子学童軟式野球大会開催
 - ・ 2021年7月31日～8月5日 愛媛県内6球場
- ◇ 教員のための「ベースボール型」授業研究会の開催
「みんなが輝くやさしいベースボール型事業」指導用教材(DVD付)を使用し、球団からの講師派遣協力を得て、計6県で「ベースボール型」授業研究会を開催。学校体育支援事業として依頼があった2球団、読売ジャイアンツ・千葉ロッテマリーンズと、2020年10月～2021年9月で11か所の小学校を訪問した。また新型コロナウイルス感染症拡大の影響から集合型での授業研究会開催が困難となったことからオンラインで初開催。
 - ・ 第1回：2021年7月28日
 - ・ 第2回：2021年8月18日2020年6月、「みんなが輝くやさしいベースボール型授業」指導用教材(テキストページ)をNPB公式ホームページ上で公開、翌年の2021年6月に付属のDVDの動画を公開。
- ◇ 野球指導者講習会(BCC)の開催
(一財)全日本野球協会と共催してアマチュア指導者向けの講習会をリモート方式で開催。
 - ・ 2021年1月15日～2月28日 オンデマンド配信講座の実施
 - ・ 2021年1月23日、24日 ライブ配信講座の実施
- ◇ 学生野球資格回復制度の運営
プロ野球出身者が学生野球を指導する際に必要となる資格の得喪管理と研修会の実施・運営
 - ・ NPBプロ研修会
2020年12月18日～27日 eラーニング方式で実施
 - ・ 学生野球研修会
2021年1月8日～17日 eラーニング方式で実施
- ◇ 侍ジャパン「野球指導者スキルアップ講習会」のオンライン開催
日本代表経験のある元プロ野球選手及びスタッフに講師を依頼、小中学生の軟式野球指導者を主な参加対象とし、システム上で講習会用に作成した映像を事前視聴、参加者からの質問をライブ配信にて回答する構成で講習会を実施。総申込者数は301名。
 - ・ 事前映像視聴期間：2021年3月5日～3月14日

- ・ 限定ライブ配信日：2021年3月20日
- ◇ 未就学児等低年齢児童に対する野球ふれあい体験事業
昨年度に引き続き、野球未経験の児童に対する野球体験イベントを実施。
 - ・ 2021年7月3日(土) 阿南市・あなんアリーナ
 - ・ 全国の保育施設へ未就学児、低年齢層向けボール遊び普及を目的に制作した冊子の無償配布。
これまでの12球団フランチャイズ11都道府県保育施設向け配布に続いて、今期は全国36府県の保育所、幼稚園等の保育施設にも冊子を無償配布。
 - ・ 早大・前橋教授に監修いただき、幼児期に必要な運動を取り入れた「ダンス」を制作。アニメーション動画で未就学児にも親しめる映像に仕上げ、今後の活動時に準備体操等にも活用予定。また、前橋教授とも連携し、ダンスによる運動効果についても調査を行っていく予定。
- ◇ 高校野球部4,000校宛てに未就学児向けボール遊び教本の無償配布
「200年構想」の一助として、また、今後の高校生との合同事業推進のため、同冊子を日本高等学校野球連盟加盟の全国硬式・軟式の全野球部、約4,000校への無償配布を実施。
- ◇ 12球団と大学、高校による共同普及振興活動を実施。
 - ・ 2021年2月27日 東北楽天-宮城県高野連「オンライン野球教室」 楽天生命パーク
 - ・ 2021年8月7日 北海道日本ハム-北海道高野連「キッズフェスタ」 スタルヒン球場
- ◇ 初心者向け審判講習会
今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実施見送り。

【研究・調査】

- ◇ 試合時間短縮化実現に向けた取り組み(ゲームオペレーション委員会)
 - ・ 試合時間計測・分析
投球間隔や打席入り時間の伸延などの要因により、平均試合時間が前年比3分増となる。
 - ・ ゲームオペレーション・ブックの発行
2020年版を作成し、12球団および審判部他へ配布。試合時間短縮化に向けた意識付け等啓蒙活動を継続実施。
 - ・ スピードアップ表彰
スピードアップに貢献したチーム、投手、打者をセ・パ両リーグからそれぞれ1名を選出して、「スピードアップ賞」を贈呈。
 - ・ 審判員技術向上アプリを活用し、審判員個々のストライクゾーンの特徴などを把握した上で判定技術の向上に努めた。全体のストライクゾーン均一化を並びにスムーズな試合進行に寄与している。
- ◇ 日本野球協議会「普及振興活動状況調査2020」
NPB12球団及びプロ野球関係団体、(一財)全日本野球協会加盟の全アマ団体を対象に野球に関する普及・振興事業の実態調査を実施。
- ◇ 中期経営計画小委員会における指針である野球振興策の方針を補完する及び検証するためのデータ・情報獲得を目的に外部業者によるアンケート調査「野球振興施策の検討に関する調査 Phase2」を実施。
- ◇ DMP(データマネジメントプラットフォーム)を整備。NPB公式サイト来訪者の属性データを収集・分析。既存来訪者の満足度向上や新規来訪者獲得のために活用する。またデータに基づき、振興や事業サポート用途にも活用の予定。
- ◇ NPB 新公認バット規定
 - ・ 新 NPB 公認バット登録運用による運用開始。
 - ・ NPB 公認バット登録各社に対し、音によるバット品質の確認機械(E テスター)を提供し、木製バットの品質向上を推進

【復興支援事業】

- ◇ 被災地域の小中学校訪問や夏祭り等への参加は、コロナ禍の影響により、イベント自体が中止となり活動を自粛。

【助成事業】

- ◇ 日本野球機構補助金規程に則り、野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体を対象に寄付、助成事業の実施と対象団体の実施事業の課題整理作業を開始。
 - ・ 公益財団法人野球殿堂博物館
時代に即した博物館事業について共同で調査研究を実施すべく協議を開始。
 - ・ 公益社団法人全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)
 - ・ 公益財団法人日本野球連盟(JABA)
 - ・ NPO法人アオダモ資源育成の会
 - ・ 一般社団法人全日本女子野球連盟
将来的な女子プロ野球の同組織内への統合予定や、それに伴う普及振興へのより一層の注力など、NPBの協力体制レビューに着手。助成金額の規模感含め検討の予定。

【アマチュア球界との交流】

- ◇ 日本野球協議会の運営
日本野球機構と(一財)全日本野球協会で構成される日本野球協議会の各種委員会等において協議。
 - ・ 幹事会
 - ・ 各委員会(普及・振興、侍ジャパン強化、マーケティング、オペレーション、国際)
 - ・ その他各種部会
- ◇ プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の開催
 - ・ 新型コロナウイルスの影響により中止
- ◇ 野球競技者登録システムの開発
 - ・ 野球界全体での統一した選手登録システムとして「野球競技者登録システム」の運用を開始。
- ◇ 野球規則委員会においてプロ・アマ合同でルール研究会を実施
 - ・ プロ・アマ審判技術専門部会の開催
 - ・ 第19回プロ・アマ審判学校を開催

【国際交流】

- ◇ WBSC(世界野球ソフトボール連盟)への協力活動
- ◇ 韓国プロ野球リーグ(KBO)と新型コロナウイルス対策について意見交換を実施
- ◇ 台湾プロ野球リーグ(CPBL)と新型コロナウイルス対策について意見交換を実施
- ◇ CPBL 審判技術指導員として、NPB審判員 OBを台湾に派遣
- ◇ 野球指導教材外国語版を使用し、国際協力機構(JICA)と連携を図り、海外での野球普及活動を支援
- ◇ 東京オリンピックにNPB 審判員 4名を派遣

【新人選手・プロ野球選手OBに向けた取り組み】

- ◇ 新人選手選択会議(ドラフト会議)、育成選手ドラフト
 - ・ 2020年10月26日(月)に実施
- ◇ 新人選手研修会
 - ・ 2021年1月8日(金)に新型コロナウイルス感染予防対策のためオンライン会議システムにより実施
- ◇ セカンドキャリアサポート事業
- ◇ プロ野球合同トライアウト
 - ・ 2020年12月7日(月)に神宮球場にてプロ野球合同トライアウトを開催、57選手が参加した。
 - ・ みやぎフェニックス・リーグ参加の現役選手への意識調査を実施
 - ・ 退団者の動向調査を実施
 - ・ セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL」の編集および発行
- ◇ 支配下10年以上養老補助制度事業における現況調査及び支給の実施

- ◇ 退団選手一時金制度における支給の実施
- ◇ 監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12 球団と協力して加入促進活動の実施と奨励金支給に関するオールスターゲーム資金の分配と球団請求業務の実施

【プロ野球界内への取り組み】

- ◇ NPB 全体の収益構造最適化
 - ・ 社員総会(オーナー会議)の指示を受け、(株)NPBE の設立趣意を踏まえた NPB 全体の合理的な収益構造の見直しを、中期経営計画小委員会にて検討着手。
- ◇ 審判員の育成、研修
 - ・ NPBアンパイア・スクールの開催はコロナ禍により開催見送り
 - ・ シーズン反省会の実施
- ◇ NPB選手関係委員会と選手会との事務折衝
- ◇ 2021 年公認野球規則の編集および発行と配布
- ◇ 新型コロナウイルス対策連絡会議の開催
 - ・ 隔週毎に NPB と Jリーグが共同で行う「新型コロナウイルス対策連絡会議」を開催
 - ・ 新型コロナウイルス対策の専門家チーム(専門医師 9 名)と契約、北海道から九州までの各地域での緊急時の相談対応ができるよう対策を講じた
 - ・ NPB 新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを策定
 - ・ NPB 各球団の PCR 検査等によるスクリーニング検査を実施
 - ・ 新型コロナウイルス感染の場合の緊急時対応窓口を NPB 事務局内に設置
 - ・ 新型コロナウイルス対策連絡会議に疫学調査の専門家(3 名)を加え、感染者発生時の調査を開始
- ◇ スポーツ庁補助金取り纏め、申請対応

【NPB 医事委員会活動】

- ◇ 脳振とうガイドラインの策定と運用
 - ・ SCAT2から SCAT5への移行対応
- ◇ 審判員の脳震とうガイドライン策定開始
- ◇ アンチ・ドーピング講習会の実施
 - ・ オンデマンドによる VTR 映像講習会開催
 - ・ Zoom による全球団トレーナー医科学関係者と NPB 医事委員会の意見交換会開催

《収益事業等(野球奨励促進事業)》

【プロ野球公式戦の開催とそれに伴う業務】

- ◇ 2021 年シーズン試合日程の編成、発表
- ◇ 開幕日程の作成、発表(NPB全体日程の再調整)
- ◇ NPBマザーズ・デー開催
- ◇ パシフィック、セントラル野球連盟年度連盟選手権試合運営管理
 - ・ 公式戦における試合日程、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ ウェスタン、イースタン・リーグ年度選手権試合運営管理
 - ・ 公式戦における試合日程管理、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ 選手登録の管理運営
 - ・ 選手登録・異動手続、FA日数管理
- ◇ 非公式試合(教育リーグを含む)管理
 - ・ 日程発表・管理 審判派遣、審判経費処理
- ◇ みやざきフェニックス・リーグ運営管理
 - ・ 試合日程作成・発表 宮崎市との運営連携 参加球団との連絡

- ◇ NPB AWARDS 2020 の開催、パートナーパーティーは中止
- ◇ 記録達成時表彰、記者投票による表彰の管理
- ◇ 各リーグアグリーメントの発行
- ◇ イースタン・リーグ観戦ガイドの発行
- ◇ グリーンブック 2021(セントラル野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ ブルーブック 2021(パシフィック野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ 両連盟選手権試合へのNPB契約審判員、記録員の派遣業務
(日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュオールスターゲームは当法人の主催試合)
- ◇ リプレイ検証制度「リクエスト」の運用
- ◇ 審判員の技術向上
 - ・ 審判員技術向上アプリを活用し、ストライクゾーンの精度、技術向上に努めた。試合結果、リプレイ検証を振り返るアプリ(POG)も導入・活用し、審判員・記録員が自身の判定について日々の研鑽を実施。2021 年からファーム映像の機能も追加。

【試合の主催、開催支援、運営】

- ◇ ファーム日本選手権の開催
 - ・ 2020 年 11 月 7 日(土) 宮崎県・ひなたサンマリンスタージアム宮崎にて開催
- ◇ 日本選手権シリーズの開催
 - ・ 2020 年 11 月 19 日(土)から京セラドーム大阪、paypay ドーム、にて開催
 - ・ 三井住友銀行が冠協賛社となり、「SMBC 日本シリーズ 2020」として開催
- ◇ フレッシュオールスターゲームの開催
 - ・ 2021 年 7 月 15 日(木) 松山市坊っちゃんスタジアムにて開催。
- ◇ オールスターゲーム(12 球団共催)の運営
「マイナビオールスターゲーム2021」として開催
 - ・ 2021年7月16日(金) 第1戦 : メットライフドーム
 - ・ 2021年7月17日(土) 第2戦 : 楽天生命パーク宮城
- ◇ 国際試合における開催支援
 - ・ 東京オリンピック「野球・ソフトボール競技」の運営業務を受諾、東京オリンピック組織委員会と共に、福島あづま球場、横浜スタジアムでの競技運営業務を実施
- ◇ 二次映像等の使用許諾管理・NPB管理試合における映像二次使用管理業務
- ◇ グッズの制作、販売管理
 - ・ NPBが運営する大会のオリジナルグッズ制作・販売
 - ・ NPBショップ運営管理
- ◇ NPBマークの管理および球団およびメーカーへの手配・販売
- ◇ NPB CIC(写真素材管理サービス)の運営管理
 - ・ 2020 年 2 月に 1 球団が利用開始し、現時点ではプロ野球 10 球団が NPB CIC を利用している
 - ・ NPB・博物館保管の過去の日本 S、オールスター映像の電子化を実施

【国際大会の運営、参加】

- ◇ 日本代表チームを編成、派遣

【試合以外の収益確保】

- ◇ 新たな収益源となるビジネスモデルの立ち上げの考察
- ◇ 12 球団との会議の開催、運営、案件とりまとめ
- ◇ 12 球団プロパティ、選手肖像の管理業務代行

- ◇ プロ野球データ活用プラットフォーム NPB BIP(Baseball Data Innovation Platform)1.0 版の運用と利用社の促進
 - ・ NPB BIP バージョン 2.0 をリリースし、配信データ項目を拡張
- ◇ e スポーツ事業「eBASEBALL プロリーグ2020(NPB・コナミ社共催)」の開催と運営
 - ・ 2020 年 12 月 5 日(日)～2020 年 12 月 27 日(日)eBASABALL e ペナントレース開催
 - ・ 2021 年 2 月 27 日(土)、28 日(日)コカ・コーラ e クライマックスシリーズ開催
 - ・ 2021 年 3 月 6 日(土)SMBC e 日本シリーズ開催
- ◇ e スポーツ事業「e オールスター2021」の開催と運営
 - ・ 2021 年 7 月 19 日(月)～8 月 22 日(日)ファン投票
 - ・ 2021 年 9 月 6 日(月)～9 月 12 日(日)オンライン大会
 - ・ 2021 年 9 月 18 日(土)最終決戦
- ◇ e スポーツ事業「eBASEBALL プロスピ A リーグ(NPB・コナミ社共催)」の開催発表と運営
 - ・ 2021 年 6 月 21 日(月) 開催発表
 - ・ 2021 年 8 月 23 日(月)球団ファン応援感謝企画詳細、12 球団スピリーグ監督の発表
 - ・ 2021 年 9 月 6 日(月)～9 月 13 日(月) オンライン予選

【記録データの管理】

- ◇ 公式記録の作成、管理、運用
 - ・ 非公式戦、公式戦への記録員の派遣
 - ・ 公式戦、日本シリーズ及びオールスターに加え二軍公式戦のスコアカードの電子化作業
 - ・ オフィシャルベースボールガイド 2021、ブルーブック、グリーンブック等各種出版物の作成
 - ・ 公式記録をベースボール・インフォメーション・システム(BIS)検索サービスで提供、速報記録等のメディア配信

《その他目的を達成するために必要な業務》

【広報・PR 活動】

- ◇ NPB イベント広報対応、取材・会見対応、プレスリリース配信
- ◇ プロ野球取材 ID 発行・管理
- ◇ オフィシャルベースボールガイド 2021 の発行
- ◇ 公式ホームページ、SNS 等での情報発信
- ◇ 公式フォトの管理
- ◇ 公式プログラムの監修(オールスターゲーム、日本選手権シリーズ)
- ◇ NPB プロモーション映像制作(球場ビジョン用)
 - ・ 開幕前に「野球場へゆこう」の映像制作。12 球団フランチャイズ球場で放映
- ◇ NPB スローガンキャンペーン(映像、ポスター制作)
 - ・ 開幕前に映像、ポスター制作。12 球団フランチャイズ球場、地方球場、マスコミ等で放映・掲出
- ◇ NPB 手帳制作
- ◇ 12 球団ファンブックへの広告掲載

【検査および調査】

- ◇ 公式戦使用球(統一球)検査
- ◇ 折損バットの調査

【暴排活動等】

- ◇ プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会はオンライン会議にて開催。
- ◇ 春季キャンプ中に全選手を対象に有害行為防止講習は中止
- ◇ みやざきフェニックス・リーグでの暴排講習を実施(DVD 配布により各球団対応)

- ◇ 反社チェックシステムの導入
- ◇ オールスターゲームにおけるチケット転売調査実施

【会員間の連絡、親善】

- ◇ 12球団役職員名簿の制作、配布

【NPB組織強化】

- ◇ 適正な労務管理実施に向けた体制整備
- ◇ 職員向け各種研修(若手社員研修、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修、WEB研修・eラーニングの提供。新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修が延期となり来期実施を検討)の実施。
- ◇ 商標権、その他知的財産権等の管理
- ◇ 内部監査の徹底
- ◇ 危機管理の体制改善・機能強化

【地球温暖化防止活動「グリーンベースボールプロジェクト」への取り組み】

- ◇ 公式戦などで出場者がグリーンリストバンド着用することによる活動PR
- ◇ グリーンリストバンドを販売し、売り上げを植林活動へ寄付

【アンチ・ドーピング活動】

- ◇ アンチ・ドーピング選手手帳の制作・配布を通じた啓発活動
- ◇ ドーピング検査の実施
- ◇ サプリメント等問い合わせ対応
- ◇ TUE申請対応

以上